

主な記事

- 2～3面 アイム・男性のモヤモヤ相談室／育児6か月取ったぞ／あるシニア男性の独りごと
- 4面 立川・この人／平成31年度立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所紹介

発行／立川市男女平等参画課
企画・編集／アイム市民編集委員
(〒190-0012)立川市曙町2-36-2
☎ 042-528-6801 FAX 042-528-6805
e-mail danjobyoudou@city.tachikawa.lg.jp

立川市ホームページ <https://www.city.tachikawa.lg.jp>



女性の活躍を応援する

No.37

12/10

2019(令和元)年
年1回発行



いまだに 男性たちの モヤモヤ

共働き世帯が64.6%と専業主婦世帯を上回り、政府が女性管理職割合を2020年までに30%という目標を掲げて、男女共同参画社会実現に向かう中で、なぜか男性たちに広がるモヤモヤ感。「声に出して言うほどでもないけど、なんだかなー」という男性たちのモヤモヤにズームしてみました。

男性たちに聞いてみました。 あなたのモヤモヤは？

職場で

- 女性職員のほうが昇進が早い気がする。
- おむつ替えスペースが、女性用トイレにしかない場合が多い。
- 1か月くらい“育休”を取っただけで、「会社の育休取得率が高いぞ」アピールに使われた。
- 職場なのに、女性は男性よりラフなファッションが許されがち。
- 家事・育児をしない男性は批判されるけど、女性が仕事をしないで専業主婦でいても、批判されないのはなぜ？
- 電車で男性車両がないのはなぜ？

男性たちのモヤモヤについて
専門家に相談してみました。

くわしくは2面へ

シニア男性

- 仕事をしている妻に、「あなたは、暇なんだから、洗濯しておいて」と言われる。こちらも忙しいのに「暇」と言われるとモヤモヤする。
- 退職後の年金も妻が管理。「小遣いちょうだい！」と言にくい。
- 探し物をしていると「ボケてるんだから」と言われて、自分でもボケたのかなとモヤモヤ。

家で

- 妻が産後うつになって4年。いまだにネガティブ思考から抜けだせない。言葉を慎重に選び、笑顔で接する生活が息苦しい。
- 専業主婦の妻が夫に渡したプレゼントに、「それって俺の金だよね」と返した夫。夫の意見にテレビ番組のキャスターが共感し、ネットで炎上したけど、実態はそうだよね？
- 自分自身のことなら、なんでも主体的に考え、意欲的に行動できるのに、家庭や子育てのことでは、妻から求められるまま動き、自分から発想することができない。なぜ妻より先に気づけないのだろう。
- 家事分担を要求されながら、「大黒柱としてしっかり稼げ」と言われる。

立川・この人

お母さんが幸せだと子どもも幸せ
さまざまな「場」を生みながら、
立川の子育てをサポート

障がい児教育支援ネット主宰／立川サイエンスひとネット代表
思いやりの会代表／スキップケア・コミュニケーションアカデミー

青谷典子さん



●子どもたちが楽しく学べる場を作っておられますね。きっかけは？

若くして子どもを持ったこともあって、子どもと関わりのあるPTAや子ども会などが、私にとっての社会訓練の場となりました。

もともと英語と音楽が好きで、家で教えていたのですが、末の子が小学校に入った2010年から子どもたちが通っていた幼稚園の通園バスの添乗員を引き受けたり、得意の英語を生かして、小学校で英語を教える外国人先生の補助をしたりと、子どもの周辺で仕事をするが増えていきました。

そんな中で、小学校で、発達に課題のある子や、身体に障害がある子たちの介助員を経験することになりました。実際やってみると、一対一対応であれば問題のない子が、集団になると先生にしかられるような動きをしたり、ちょっとした言葉掛けで落ち着きを失ったりと、さまざまなケースに出会いました。いったい、この子たちの中で何が起きているのだろうと、改めて「発達」について勉強を始めました。そのうちに、障害の有無を問わず、どの子も生き生きと自己発

達ができる場をつくりたいという思いが強くなり、介助員をやめ、「英語リトミック」の教室を開きました。2015年のことです。

●同じ頃、「立川サイエンスひとネット」もスタートさせていますね。

もともと科学が好きだったので、キーマンとなる人たちとの出会いがあつて「立川サイエンスひとネット」のいろいろな活動を始めました。

中でも継続的な学びの場として、科学を机の上だけではなく、実験や、自然の中の観察などの体験を通して学ぶことをモットーに始めた、「ダ・ビンチサイエンス教室」が人気です。

幼児から中学3年生まで参加できます。もちろん発達に課題のある



る子や肢体不自由児もいっしょです。「ここでは、うちの子も普通だわ」とお母さんがびつくりするぐらい、どの子も集中してくれます。付き添いの大人たちも、子ども以上に楽しんでいきますね。

●「思いやりの会」ってどんな会？

障害児の教育支援をする中で実感したのは、お母さんが自己肯定感を持ち、輝いて子育てをしていると、子どもも安心して、自分を伸ばしていけるということでした。それなら、もつとお母さんたちにアプローチしたい、そう考えて発足させたのが「思いやりの会」です。

たとえば、発達に課題のあるわが子を丸ごと受け入れられないお母さんは、自身も、育つ過程で兄弟や友人と不当に比べられるなど、自己肯定感を十分にはぐくむことができなかった人が多いのです。

「思いやりの会」は、メンバーに医師やさまざまな分野の専門家が入っていて、ごく自然な形で、子育て中のお母さんたちの悩みやグチを聴いたり、話し合ったりできる場になっています。また求められれば、個人的な相談にも応じて

います。

私もコーチングの手法で、お母さんたちが自分の体験を整理し、前向きな気持ちになれるよう、お手伝いをしています。

●まだまだ活動の場は広がりそう？

はい(笑)。最近、スキップケア・コミュニケーションアカデミー」という任意団体を立ち上げました。それで昨年、「スキップケア・コミュニケーションアカデミー」という任意団体を立ち上げました。

私は起業に向いているのかもしれない。こういう組織があるといいなとか、あの人とこの人をつなぐと面白そうとか、事業の「種」を見つけるのが得意なのです。そして何かを始めると、必ず助けてくれる人が出てきます。

●すべての活動が、子どもたちの幸せにつながっていますね。

子どもたちを育てている人たちが幸せだと、子どもたちも自己肯定感を持つ前向きな大人に育ちます。それは社会全体を底上げすること。私は生まれ育った立川で、そうした活動がしたいのです。

審議会等に参加して 女性の意見を市政に

「審議会等」とは、市民や専門家の意見を施策に反映させるための機関です。

誰にとっても住みやすい市にするため、さまざまな分野の公募委員に応募し、女性の声を市政に届けましょう。

男女平等参画苦情処理制度を ご存じですか

立川市男女平等参画基本条例では、市の施策が男女平等参画の促進に影響を及ぼす場合等に、男女平等参画苦情処理委員に苦情の申し出をすることができます。申出書の提出方法等は男女平等参画課にお問い合わせください。

「情報紙アイム」へのご意見・ご感想、取り上げてほしいテーマなどお寄せください。

✉ danjobyoudou@city.tachikawa.lg.jp
バックナンバーは、立川市ホームページから「情報紙アイム」で検索してください。

アイム企画・編集

市民編集委員：原和美(助言者)、鈴木洋子、萩本悦久、長谷山聡子
イラスト協力：矢島友美

平成31年度立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所を認定しました

東洋システム株式会社

取り組みの主なポイント

- 「小学校3年生までの子」の育児を行う社員の短時間労働
- 毎年学生を受け入れるインターンシップ制度
- 職場環境の向上のための全社員を対象とした社長との面談
- 自己啓発やキャリアアップとしての基幹職研修や英語・中国語勉強会

株式会社 東海日動パートナーズTOKIO 西東京支店

取り組みの主なポイント

- 勤務時間を4パターンから選べるマイセレクト制度
- 毎年連続5日間の休暇が取得できる特別連休制度
- 新入社員に対し、年間を通じてマンツーマンでの育成
- 「健康優良企業」として国より認定

東京海上日動火災保険株式会社 西東京支店 立川支社

取り組みの主なポイント

- 所定外労働時間の削減
- 年次有給休暇、特別連続有給休暇の取得促進
- 育児支援制度や母性保護制度の導入
- 外出先での業務や在宅勤務などのテレワークの導入

認定事業所の取り組みがわかる「立川市ワーク・ライフ・バランス推進事業所認定式」&ミニセミナー開催!!
令和2年2月6日(木)午後2時から 詳しくは広報たちかわ(12月25日号掲載予定)、または立川市ホームページで